

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成 30 年 3 月 3 日（土） 15：00-17：00
2. 開催場所：ジュンク堂書店 那覇店
3. 関係団体等：京都大学人文科学研究所
科学研究費基盤研究（S）「人種化プロセスとメカニズムに関する複合的研究」
4. 役割
進行：竹沢泰子（京都大学人文科学研究所教授・日本学術会議連携会員）
講師：木村亮介（琉球大学医学研究科准教授）
徳永勝士（東京大学医学研究科教授・日本学術会議連携会員）
コメンテーター：太田博樹（北里大学・医学研究科准教授）
5. 概要：
「DNA からみる集団と個 ～沖縄、日本、アジアを例として～」というタイトルで講師二人、コメンテーター一人が話題提供をした。琉球大学の木村亮介氏は、沖縄の人々の起源と沖縄の人々の顔立ちからわかると考えられる遺伝的特徴について説明し、続いて東京大学の徳永勝士氏が、病気に関わる遺伝子の分布にみられる個人差と集団差、地域差について説明した。両氏の話を受けて北里大学の太田博樹氏がコメントをした。それぞれの話題提供のあとフロアから質問を受け付け、後半は自由討論とした。沖縄島や八重山諸島の人々と台湾・本土との関係や、港川人と現代の沖縄の人々との関係、差異と共通性、多様性について科学者がいかに社会に伝えるべきかなどをめぐり、活発な討論がフロアの参加者との間で交わされた。
6. 参加人数：
講演者等：4 名
その他の参加者：35 名
7. 特記事項：
琉球大学医学部の石田肇教授をはじめ関係者には現地で大変お世話になった。